

「新型コロナ対策(グローバル行動計画)に関する外相会合」
林外務大臣メッセージ(日本語仮訳)

ブリンケン米 국무長官、アルバレス・スペイン外務・EU・協力大臣、クワペ・ボツワナ外務国際協力大臣、モメン・バングラデシュ外務大臣、ご参加の皆様、

今日、こうして初めて皆様と同じ会場に集まり、GAP 会合に参加できることを大変嬉しく思う。

新型コロナは終わっておらず、収束させるための取組を維持する必要がある。世界全体でワクチン接種率は上がってきているが、十分ではない。

接種を促進する取組の方法の一つとして、定期予防接種との連携が議論され、各国での努力が進められている。

例えば、日本は、パキスタンにおいて定期予防接種を担っている女性保健ワーカーに対して、新型コロナ・ワクチンも接種できるよう、能力強化のための技術研修を行っている。今後も各国のニーズに沿った支援を行っていく。

また、柱6の取組の下でのグローバルヘルス・アーキテクチャーの強化に向けては、来年のG7広島サミットに向けた議論と効果的に連携させ、積極的に議論を主導していく所存。UHCの達成に向けて、引き続き、日本はグローバル行動計画でもリーダーシップを発揮していく。

ありがとうございました。

(了)